

## 平成 3 0 年度 学校評議員会の実施報告書

---

学校名 岐阜県立中濃特別支援学校

校 長 武市由紀子

所在地 関市桐ヶ丘 2 丁目 3 番地 電話 0575-24-1773

---

- 1 会議の名称 岐阜県立中濃特別支援学校を支える会
- 2 会議の構成
- |     |            |                |     |
|-----|------------|----------------|-----|
| 評議員 | 安井喜代子      | (有)セキカガク       | 取締役 |
|     | 植野 明       | 向山町長寿会         | 会長  |
|     | 杉山 祐子      | 中部学院大学短期大学部    | 教授  |
|     | 古田 裕彦      | 岐阜県立ひまわりの丘第一学園 | 次長  |
|     | 加藤 正文実 (欠) | (社)関青年会議所      | 理事長 |
- 学校職員等
- |       |             |
|-------|-------------|
| 武市由紀子 | 校長          |
| 井戸眞由美 | PTA会長       |
| 山田真治  | 事務部長        |
| 今井滋行  | 教頭 (本校)     |
| 野田弘美  | 教頭 (分教室)    |
| 杉本雅晴  | 小学部主事       |
| 武藤明美  | 中学部主事       |
| 鵜飼陽一郎 | 高等部主事 (本校)  |
| 大島達史  | 高等部主事 (分教室) |
| 山内幸恵  | 教務主任        |
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を求め、教育活動の活性化につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。
- 4 会議の開催
- 日 時 : 平成 3 1 年 2 月 2 8 日 (木) 9:45-11:30  
会 場 : 中濃特別支援学校校長室  
出席者 : 評議員 4 人、学校職員等 1 0 人
- 5 会議の概要
- (1) 校長挨拶
  - (2) 授業参観
  - (3) 本年度教育の報告
    - ① 学校評価アンケート結果について
    - ② 平成 3 0 年度の教育について (各学部報告)
  - (4) 授業見学及び報告についてご意見拝聴
    - ・地域貢献につて

- ・防災について
- ・その他

#### (5) 校長挨拶

意見1：個性のある子、個性のある先生をまとめるのは大変。前回は参観をさせてもらったが、この1年間で子どもたちは、驚くほど成長している。見守っていくことは、大変なことだが、先生方には、頑張ってもらいたい。

意見2：高等部では、自分たちが作った野菜で料理をしていた。作ったものの評価についてだが、できたことの評価が大切。地域でも、学校祭でのバザーを楽しみにしている。できれば年に3回ぐらいバザーを開いて、その時に今回のような料理も出せるようにしてもらえるとよいと思う。

意見3：12年間を見通しての教育として、小学部から高等部まで一人一人に合わせて、教材の工夫や指導技術が素晴らしい。成果の積み重ねがある。隣である中部学院も含めて、地域とのつながりについては、地域とどのように関わるのか、が課題。障害者が地域にいて当たり前という自覚が地域にはまだ薄い。それは、防犯体制にも関連する。地域との交流は、地域の協力が必要。

意見4：ひまわり学園もいろいろと課題があり、学校との連携も課題の一つである。今後も連携してやっていきたい。福祉型避難所について、学園は指定となっている。今後、関市の福祉政策課と話を進めていくが、学校ともどのような体制をとるのか一緒に考えていきたい。

意見5：保護者は、子どもたちの将来は大丈夫なのかと、常に不安を持っている。自分の子どもは、先日マーゴ販売に参加でき、先生たちのおかげで大変成長したことを実感した。地域の方たちにも、見守っていただきながら生きていけるとよい。これからもよろしくお願いします。

#### 6 会議のまとめ

今回は、前回と同様に小中高等部を見学していただいたが、ほとんどの方から児童生徒の成長に対しての評価をいただくことができた。学部からの報告では、目標の設定から取り組んだ研究の成果など、具体的な報告により、本校の教育の方向性についてご理解をいただいた。

今回、評議員の方々からいただいたご意見を、今後の取組に生かすようにしたい。